

く で けん や ご う ニー ル ク  
久手堅 屋号二六の戦争体験 ワークシート②

学年 組 氏名

---

ワーク1

1. 屋号二六の戦争体験を振り返ってみよう

- 1944 (昭和 19) 年夏 <sup>みつこ</sup>皇子が<sup>そかい</sup>宮崎へ疎開する
- 1945 (昭和 20) 年 3 月 ( ) が<sup>ぼうえいたい</sup>防衛隊へ<sup>どういん</sup>動員される
- 3 月 ( ) が<sup>がくとたい</sup>学徒隊へ<sup>どういん</sup>動員される → <sup>せんし</sup>戦死
- 3 月 ( ) が<sup>きゅうごはん</sup>救護班へ<sup>どういん</sup>動員される → <sup>せんし</sup>戦死
- 4 月 <sup>まごいち</sup>孫一と妻のマエヌはイリジヨーガマに<sup>ひなん</sup>避難する
- 5 月 <sup>げんぞう</sup>源蔵が日本軍の食料運びにかり出される → <sup>せんし</sup>戦死
- 5 月下旬 <sup>ぼうえいたい</sup>防衛隊に<sup>どういん</sup>動員されていた<sup>げんゆう</sup>源勇が
- 妻のヨシと合流し<sup>く で けん</sup>久手堅に戻る
- 5 月下旬 <sup>まごいち</sup>孫一と妻のマエヌが<sup>く で けん</sup>久手堅に戻る
- ( ) 月 <sup>まごいち</sup>孫一・<sup>げんゆう</sup>マエヌ・<sup>げんゆう</sup>源勇・<sup>ほりよ</sup>ヨシが捕虜になる
- ★<sup>く で けん</sup>久手堅は ( ) となった
- 7 月 19 日 日本兵に<sup>しゅうげき</sup>襲撃され<sup>げんゆう</sup>源勇・<sup>しんせき</sup>ヨシ夫婦と<sup>う</sup>親戚の女性が撃たれる
- <sup>しんせき</sup>親戚の女性は病院に運ばれて亡くなった



## ワーク 2

例) <sup>やごうニールク</sup>屋号二六の家族の沖縄戦体験を参考に、ペットも含めて、あなたと今一緒に住んでいる家族が、沖縄戦の時代に生きていたら、家族はどんな沖縄戦体験をしたか考えてみましょう。

例) <sup>やごうニールク</sup>屋号二六の家族の沖縄戦体験

家族	性別	年齢	日本軍にどんなふうに関与したか？	どのような戦争体験をしたか
孫一 (父)	男	59 歳	村の有力者として日本軍に協力する	自宅内の壕で数日過ごしたあと、村内のガマに移動。 5 月下旬に自宅に戻る。
マエヌ (母)	女	55 歳	食べ物の提出	6 月上旬に捕虜になる。
源蔵 (長男)	男	39 歳	戦場で軍の食料運びに協力する	当初動員はされなかったが、5 月末、家族で避難中に日本軍に動員され糸満市で砲弾の破片が胸に当たって即死
源勇 (三男)	男	27 歳	防衛隊として日本軍に協力する。	特攻の攻撃準備をしている時にケガをして、戦場から離れ、5 月末に妻と合流。 6 月上旬に捕虜になる。 7 月に収容所で日本兵に撃たれる。
ヨシ (三男の妻)	女	24 歳	陣地構築や食べ物の提出	玉城に避難。5 月末に夫と合流。 6 月上旬に捕虜になる。 7 月に収容所で日本兵に撃たれる。
キミ (三女)	女	20 歳	救護班として日本軍に協力する	5 月下旬頃、那覇市安里の日本軍の壕でアメリカ軍の攻撃を受け戦死
展男 (長男)	男	15 歳	学徒隊として日本軍に協力する	6 月、日本軍と行動を共にし、戦死。 戦死場所不明。
皇子 (長女)	女	12 歳	陣地構築や食べ物の提出	1944 年夏に宮崎に疎開し、1946 年秋に沖縄に戻ってくる



# あなたの家族がもし沖縄戦の時代に生きていたら？

\*年齢がわからなかったら書かなくてもいいですよ！



家族	性別	年齢	日本軍にどんなふう に協力したか？	どのような戦争体験に なったと思うか？
私				



質問

ワーク2 に書いてもらった家族の中で、日本軍に参加した人はなぜ参加したと思いますか？

(日本軍に参加しないで疎開<sup>そかい</sup>や避難<sup>ひなん</sup>をした人たちは、なぜ日本軍に参加しなかったと思いますか？)

